

憲法を生かし市民の命と暮らしをまもり 本気で真剣に市民の思いに応える

日本共産党

まつど民報
【市政報告】

2018年7・8月号
日本共産党松戸市議団
TEL 047(366)7403
FAX 047(366)5915



ご意見・お問い合わせはホームページから

日本共産党松戸市議団 検索

この議会報告は、政務活動費により発行されています

どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください



うつの史行
宇津野
ふみゆき
教育環境常任委員

林間学園費用の補助 前倒し支給の実現に前進!

生活保護や就学援助の世帯には、林間学園費用が全額補助されます。ただし支給は林間学園後で、いちどは全額立て替え負担が必要です。生活保護世帯への前倒し支給を提案する質問に「事前支給の実現に向けて取り組む」と答弁がありました。

東松戸1丁目 「道路振動」解消を!

大型トラックが行き交う住宅街、昼夜問わず発生する震度2~3程度の振動に住民が悩んでいます。郵便トラックの迂回や、大型車の進入禁止、工業団地との交渉など、みわ県議と二人三脚で取り組んでいます。

- 旧伊勢丹を活用した市役所の現地建て替えについて
- 市立東松戸病院について
- 公約通り国民健康保険料の引き下げを
- 学童（放課後児童クラブ）充実を



山口 正子
やまぐち
まさこ
健康福祉常任委員

千駄堀口バス停 交差点に信号機を!

市立総合医療センター開院にともなう周辺開発が進み、交通量が増えた運動公園（鉄塔）通りは人身事故が倍増しています。とくに千駄堀口バス停がある交差点はコンビニも出店し、バス利用者など横断時の危険性が高まっています。地元住民からも信号機設置の要望があり、市に安全対策を求めましたが市は消極的です。一刻も早い信号機設置を強く求めました。



- JR駅（北松戸・馬橋・北小金）無人化状況と安全対策は
- 馬橋駅東口の県道拡幅を
- 保育士の確保と待機児童解消策について
- 市立病院跡地に市民の集会施設を
- コミュニティバスを市内各地に



高橋たえ子
たかはし
妙子
建設経済常任委員

矢切の貴重な農地と 景観を守るため、 市は積極的な役割を!

矢切観光拠点計画と歩調を合わせるように、矢切耕地の真ん中に大規模物流センター進出が浮上しました。事業者が「市長の後ろ楯（だて）を得ている」と地権者に迫り、土地買収をしています。事業者との関係を問われた市長は答弁を拒否、まるで松戸の加計疑惑です。

「市のやるべきことは農家・地権者への具体的な応援だ」と指摘し、「2021年度からの『新』都市計画マスター プランに矢切の農地と景観を守ると明記せよ」と求めました。

- 児童館の増設で子どもの育ちを保障せよ
- 外環道路周辺の安全対策を
- ①国道298号から進入する小山高架橋下付近の通学路の安全対策を
- ②松戸ICの交差点を利用する児童・生徒の安全対策を



高木 健
たかぎ
けん
総務財務常任委員

市は大型店よりも 地域商店街にこそ支援を

来年の秋オープン予定の北部市場跡地のショッピングモール。影響を受ける商店への支援として、「商店街での買い物で、映画館やスポーツクラブの割引券配布」「商店街とモールでのイベント連携」「コミュニティバスで、団地、商店街、モール、市立病院などを結ぶ地域交通の整備」などを提案。「市は市民の側に立って、事業者との交渉にあたるべき」と訴えました。

商店街とモールが互いに良い関係を築くには、市の支援が不可欠です。しかし市は、未だ具体的な対策をなんら打ち出せていません。地域から細かにアイディアを募り、積極的な取り組みを強く求めました。

- 企業誘致の効果と中小企業への支援充実について
- 小金原中央商店街の駐車場維持負担軽減を
- 介護保険料・利用料の低所得者対策の拡大を



平田きよみ
ひらた
教育環境常任委員

大規模統廃合から 学校施設を守れ!

公共施設再編整備推進審議会では、学校の大規模な統廃合や複合化が検討されています。これに対する教育委員会の見解をただしたところ、「市長部局の関係課と情報共有を図っている」との答弁で、具体的な考えは示されませんでした。無謀な大型開発に莫大な予算を投入する一方で学校の統廃合などを見込んだ公共施設再編計画に対し、教育委員会が防波堤となるよう強く求めました。

また、先送りしてきた老朽化校舎の改修の質問には、「2020年度までに策定予定の長寿命化計画の中で方向性を検討する」との答弁がありました。

- 教師不足や学校内のパワハラへの対策を
- 介護の人手不足解消を
- 六実高柳老人福祉センターの浴室存続を
- 元山駅周辺の交通安全対策を

